

介護保険料の減免要件の緩和を

保険料は年々重い負担に

65歳以上の人が払う介護保険料は、制度が始まった当初と比べ、基準月額3183円から5867円へと約1.8倍も上昇しました。

滞納理由の6割が「生活困難」

高い介護保険料は多くの高齢者を苦しめています。市の調査によると、2017年度に保険料を滞納した2059人のうち61%の1270人は「生活困難」が理由でした。

減免された人はわずか9%

所得が低い人のための減免制度の対象になったのは、「生活困難」による滞納者のわずか9%の114人です。

利用しやすい減免制度に

全国では、減免の要件である預貯金などの上限を高め設定したり、必要最小限の要件のみにするなど、利用しやすくしている市町が多くあります。

こんなに違う！

福山市の要件

- 年間収入：1人世帯136万2千円以下
2人世帯204万6千円以下
+1人増えるごとに48万3千円加算
- 預貯金：世帯合計200万円以下
- 保険料段階：2・3のみ
- ほかに扶養など4つの要件あり

横浜市の要件

- 年間収入：1人世帯150万円以下
+1人増えるごとに50万円加算
- 預貯金：1人世帯350万円以下
+1人増えるごとに100万円加算
- 保険料段階：7以下 ● ほかに要件なし

生存権を守れ

生活扶助費の削減やめよ

生活保護は、すべての国民の「生存権」を保障する重要な制度です。

しかし、国は制度を改悪し続けてきました。昨年10月にも生活保護基準を見直し、今後3年で平均1.8%・最大5%の生活扶助費（食費や光熱費相当）を削減しようとしています。

8割の世帯で扶助費が減額

この見直しにより、市内で生活保護を利用する4752世帯のうち、80%の3801世帯が生活扶助費を減額されました。10月分の減額総額は約290万円にのぼり、保護利用者からは「夕方の半額商品ばかり買い、人付き合いもさらに疎遠になった」「入浴は週1回程度に我慢」

扶助費削減の撤回と水道料金減免の復活を

国に扶助費削減の撤回を強く要望し、市として保護利用者の生活実態を調査することを求めました。また、市が2015年に廃止した水道・下水道料金の福祉減免制度を復活するよう求めました。

市は、いずれの要求にも「考えていない」と答え、市民の生存権を守る姿勢は見られません

1 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

憲法25条

LGBT

自分らしく生きる権利を

性的マイノリティの人々の人権を守り、多様性を尊重する社会を実現するため、同性カップルなどが婚姻関係と同等の権利を得られる「パートナーシップ条例」の導入や専門相談窓口の設置を求めました。

市「具体的な解決策を検討」

これらを議会で要望したのは3度目ですが、「誰もが自分らしく生きていく権利が当たり前に行使できる環境を整えるため、当事者団体とも連携するなかで、具体的な解決策を検討したい」「安心して相談できる体制づくりに取り組みたい」と、一歩前進の答弁がありました。

駅北口周辺整備——市民的議論を

市所有の駅北口広場をJRの土地と等価交換か

JR西日本は、市所有の福山駅北口広場（4484㎡）をJR所有の駅前広場（2624㎡）と等価交換し、6階建てのホテルなどを建設する計画を市に提案しています。

貴重な公共財産

市は、JRの提案を「有力な選択肢の一つ」としていますが、▼面積

差のある等価交換の妥当性

▼福山城などの歴史的空間への影響▼観光バス離発着場の廃止による利便性の確保

— など様々な疑問が生じています。北口広場のあり方については、改めて市民的議論が求められます。



国民健康保険税の引き下げを

請願



請願の提出に同席＝11月30日

国保税の引き下げを求める請願が2203筆の市民の署名とともに議会に提出されました。

今年度から国保の運営主体が県に変わり、国保税は7年連続で引き上げられようとしています。

引き下げを求める声は当然で、議会として市民の負担を軽くするよう市に求めるべきですが、請願に賛成したのは日本共産党市議団だけでした。

日本共産党は引き続き、議会論戦とともに市民のみなさんと力をあわせ、国保税の引き下げに力を尽くします。

市役所の障害者用駐車場に屋根がつけます



雨に濡れずにご利用いただけます

市役所本庁舎に、車椅子など車の乗り降りが困難な方専用の屋根付き駐車スペースが設置されます。

以前から要望が寄せられ、日本共産党市議団は何度も議会でとりあげてきましたが、やっと実現しました。

ところが残念なことに、玄関先までの屋根はありません。せっかく喜ばれていることなので、よりバリアフリーを進めるよう市に求めました。

議会だより 2019年新春号

日本共産党
福山市議会議員団

村井あけみ

TEL.084-941-2366
FAX.084-994-1767
Eメール murai@f-jcp.com
ブログもご覧ください。
村井あけみの奮闘記 検索

高木たけし

TEL.084-972-6830
FAX.084-972-6830
Eメール takagi@f-jcp.com
ブログもご覧ください。
たけし通信 検索

土屋ともりのり

TEL.084-957-2304
FAX.084-957-2401
Eメール tsuchiya@f-jcp.com
ブログもご覧ください。
土屋ともりのりのもやまブログ 検索

河村ひろ子

TEL.084-965-6049
FAX.084-962-1928
Eメール kawamura@f-jcp.com
ブログもご覧ください。
ひろ子ワールド 検索